

SNBL 新日本科学

ランチオンセミナー 2025

毒性病理学における

Microphysiological Systems

(MPS) の役割

動物実験代替法や
in vitro評価系推進の動きが
近年広がっている

2022年にFDA近代化法2.0が成立し、医薬品申請に in vitroのデータの受入れが許容され、動物実験代替法の推進が広がっている。そのような背景の中、微小環境中で細胞培養を行うことで生体内における反応を模倣することができるMicrophysiological Systems (MPS) への関心が高まっている。本セミナーでは、MPSが毒性病理学に対しどのような役割を示し、現状でどのような課題があるのかを紹介するとともに、今後の活用について議論する。

1.31 日
12:30-13:20



演者 諏訪 喜昭
(株)新日本科学 安全性研究所

- **場所:** 第41回日本毒性病理学会総会及び学術集会
ゆうゆうホール 三島市民文化会館 (〒140-0011 静岡県三島市一番町20番5号)
3階 第1・2会議室
- **日時:** 2025年1月31日 (金) 12:30~13:20
- **参加費:** 無料

参加チケット 1月31日 (金) 8:40 ~ 1階 総合受付の前にて配布

Website: <https://snbl.com/> Email: info@snbl.com